

開校準備委員会通信 No.3

阿智村教育委員会

第2回各部会(7/16)の審議について報告します

建設部会

校舎配置・教室レイアウトについて意見交換

新しい学校の校舎配置や教室レイアウトについて、3つのグループに分かれてワークショップを行いました。児童生徒が安心して学べる環境づくりに加え、地域に開かれた学校となるよう、様々な視点からの意見が出されました。

1 学習環境・教室配置

- (1) 小学校1年生から4年生を新校舎に配置する。
- (2) 低学年の多様な活動を支える「何でもスペース」を設けたい。

2 交流・地域利用

- (1) 地域との交流を促進するため、スクールコミュニティで活用できるスペースの確保の必要性。

3 バリアフリー・生活環境

- (1) バス乗降場所からの位置や安全な動線、また利用しやすいトイレの位置やスペースの確保。



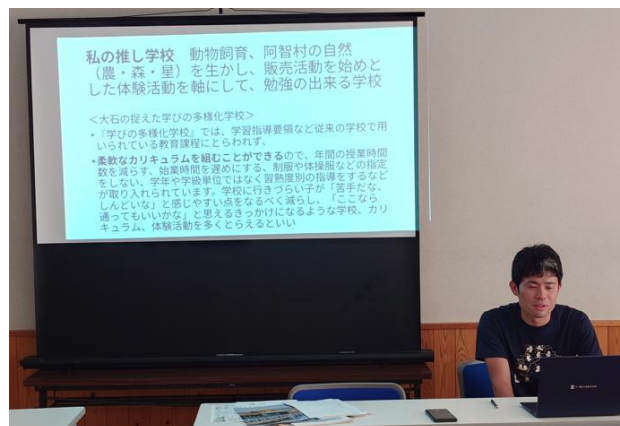
モデルをもとにレイアウトを議論

学びの多様化学級部会

すべての子どもが安心して学べる環境づくりを目指して

不登校支援やインクルーシブ教育の充実をテーマに、子ども一人ひとりに寄り添った学びの環境づくりについて意見交換を行いました。現在開校している学びの多様化学校の事例を参考に、新しい学校に求められる支援の在り方について協議しました。

- 1 安心して登校できる動線づくり
- 2 安心して過ごせる居場所づくり
- 3 支援機能の充実
- 4 心の教室、教育支援センター等との近接配置
- 5 将来を見据えた施設設備



部会委員による「私の推しアイデア」発表

総務部会 8月 24 日(月)より村民対象の校名アンケートを実施します

8/24(月)～9/18(金)に、各小中学校の児童生徒・保護者および村民の皆さまを対象に新しい義務教育学校の校名を決めるアンケートを実施します。広報あち8月号にある「校名募集のご案内」をご覧ください、ご協力をお願いします。皆さんのアイデアが、新しい学校の校名として活かされます。



校章・校歌・制服決定までの方向性について話し合い

学校教育部会 これからの「学び」にふさわしい教育環境について協議

学校教育部会では、新しい学校で目指す学びの姿や教育環境について意見交換を行いました。



探究的な学習の充実や基本的な学習スキルや学び方の必要性について話し合い

1 異学年の学びについて

- (1) 学年の系統性や目標を考慮した、異学年間のメリットの見極め。
- (2) 4-3-2制の3(5・6・7年生)の段階で、異学年交流を重点的に考える。

2 インクルーシブ教育について

- (1) オープンスペースの自由度と活動に集中できる「仕切り」のバランスや柔軟性。

3 新校舎にどう反映させるか

- (1) 連学年で行動できるオープンスペースの活用。

通学路・通学方法等検討部会 具体的なバスルートについて意見交換

現在のバスルートを基に、様々な角度からバスの効果的な利用方法について意見を交わしました。

1 運行ルートの検討

- (1) 清内路小、浪合小、第三小学校区は基本的に現行の運行形態を継続する。
- (2) 第一小、第二小学校区は新たなルートを検討する。

2 学童保育・特色ある教育活動との連携

- (1) 学びの多様化学級への通学支援についても検討が必要。



バスの運行ルートについて意見交換

阿智村教育委員会 学校教育係 (担当) 両角明浩

TEL 0265-45-1231 FAX 0265-45-2126 E-mail : kyoiku@vill.achi.lg.jp